

令和6年度 指定障害福祉サービス事業所マザーグースの家 事業報告

1 定員、実利用者数(令和 7年 3月末日現在)

事業種別	定員	契約者数	実利用者数
生活介護	40 人	42 人	42 人

2 延べ利用者数

	R6 4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7 1	2	3	合計 平均
延べ利用者数(人)	842	892	855	884	791	833	890	841	849	701	756	886	10,020
平均利用率(実利用者数/定数)	95.7%	97.0%	98.0%	96.1%	89.9%	94.7%	97%	96%	92%	76%	90%	96%	93.21%
前年度延べ利用者数(人)	742	811	798	810	813	791	816	775	816	822	765	866	9,625
前年度平均利用率(実利用者数/定数)	84.3%	88.2%	90.7%	88.0%	88.4%	89.9%	89%	88%	89%	89%	91%	94%	89.12%

3 障がい支援区分

	区分3	区分4	区分5	区分6	合計	平均
令和7年3月末現在	0	2	23	17	42	5.4
前年度3月末現在	0	2	23	16	41	5.4
比較	0	0	0	1	1	0

4 職員の勤務年数

	2年未満	5年未満	10年未満	15年未満	20年未満	20年～
施設長						1
サービス管理責任者				1		
生活支援員	9	3(1)	6	1	1	
事務員	1			1		
看護師	1	1(1)		1		
管理栄養士	1					
その他(運転手・調理)	3	2	1	1		

5 事故報告書

	転倒	他害・物損	けが	突発的行動	送迎	服薬	異食
R6.4～R7.3	2	12	1	7	1	2	1

6 ヒヤリハット報告

	突発的行動	他害(未遂)	送迎	服薬	転倒
R6.4～R7.3	8	2	1	1	1

7 各委員会の報告

- 感染症及び食中毒の予防のための委員会、感染対策委員会の実施
- 虐待防止のための対策検討委員会 実施
- 身体拘束の適正化のための対策検討委員会 実施
- 防災委員会
 - BCPの見直し検討会議、地域との防災交流
- 安全委員会
 - リスクマネージャーによる、ヒヤリハット、事故報告書の検討会議

8 行事

サークル活動	月2回のスポーツデイ、フライングディスク 偶数月(絵画)、奇数月(書道)
行事	公園散策、ノーマピック(ボウリング、フライングディスク)、ドライブ、花植え エナジー展作品作り、喫茶、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、各班行事 初詣(大麻比古神社)、カレンダーづくり

9 保健

ご利用者の検温の実施
来園者の記録簿(検温、健康及び行動確認、連絡先等の確認)
基本的感染対策の実施(コロナによるクラスター1件)
嘱託医による定期巡回

10 防災

令和6年10月避難訓練・消火訓練・通報訓練実施
令和6年11月水害訓練実施
令和6年9月火災・地震避難訓練・通報訓練実施
あせび作業所との合同避難訓練・炊き出し訓練実施

11 研修

内部研修	ハラスメント研修(WEB)、障がい者虐待防止法研修(WEB)、新人職員研修		
	メンタルヘルス研修、腰痛予防研修、食中毒研修、コンプライアンス研修		
	BCP机上訓練(感染症)、人権擁護研修、		
外部研修	徳島県知的障害者福祉協会施設長会・理事会・各種部会		
	徳島県保健所管内集団給食施設協議会 総会 研修会		
	徳島県新任福祉職員合同入職式	新規学卒求人及び求人者マイページ活用セミナー	
	板野町人権推進協議会総会	チームリーダー研修	栄養士研修会
	ソーシャルリクルーティング研修	徳島県強度行動障がい者支援者養成研修(基礎)(実践)	
	対人援助職のためのコミュニケーション研修	中堅職員ファーストステップ研修	共感を得ることば研修
	徳島県障害支援区分市町村審査会委員研修	クレーム対応力強化セミナー	甲種防火管理者新規講習
	記録の書き方研修	福祉職に必要な法律知識講座	全国日中活動支援部会
	徳島県障害者虐待防止・権利擁護研修 徳島県手をつなぐ育成会特別研修会		

12 苦情解決

1件。髭剃りについて苦情があるが、即応することで解決している。

13 地域交流

避難訓練の避難場所として、地域の土地をお借りし避難させていただいた。
毎年、地域と関わりながら相互理解を深めていく。
板野町ふれあい大会への参加。
板野町啓発文化展への参加。

14 まとめ

グループホーム「マザーHope1」の開所に向けて、令和6年度中は職員の採用と育成を行う1年となった。

利用者さんは、区分5、6の方、強度行動障害を持たれている方もいる。人を区分でみるのではなく、「その人」として見ると支援も違ってくる。「その人」に合った支援を試行錯誤しながら、日中支援に加え、夜間、早朝を意識した支援をしてきた。

より深く家庭と連絡を行い、「その人」を知る。知らないことがあるから知ることに重きをおく。この支援は、これからのマザーグースの家の支援の基本になるものだと思う。

1月に新型コロナウイルスのまん延があったが、新規の利用者が増えたことで全体の平均利用者数が38人となった。ご利用者やそのご家族から「マザーグースの家」、「グループホーム」に対しての期待の証の数字とも言える。

10年近く支援してきた職員を複数名、新人の支援員をグループホームに異動した為いったん0に戻り、令和7年度は安全に基づく基本的な支援から行う。

食事の面は、管理栄養士ほか調理員の協力体制の中、利用者さんの食事を知ることができた。今後は、行事食も含めて、より嗜好に合った食事の提供に期待している。

15 その他

グループHope1の開設に向けて、法人本部の主導のもと、住民説明会、地鎮祭をはじめ、設計事務所、施工業者との具体的な打ち合わせを繰り返しながら、内覧会を経て、4月1日の開所にこぎつけた。Hope2.3についても建設準備にかかったところである。

令和6年度相談支援事業報告書

板野郡委託契約相談支援件数… 3 5 5 件 相談方法、対応は以下の図の通り。

図1		相談者				
		本人	家族	関係機関	その他	計
年度月別	4月	24	5	14		43
	5月	17	6	19		42
	6月	18	7	13		38
	7月	14	2	23		39
	8月	12	4	10		26
	9月	9	7	10		26
	10月	13	5	7		25
	11月	9	6	8		23
	12月	14	9	10		33
	1月	10		5		15
	2月	11	7	6		24
	3月	7	6	8		21
	計	158	64	133		355
図2		本人	家族	関係機関	その他	計
相談方法	訪問	58	15	25		98
	来所	10	16	9		35
	同行	4	1			5
	電話	59	30	94		183
	メール	25	2	4		31
	個別会議	2		1		3
	関係機関 その他					
	計	158	64	133		355
図3		本人	家族	関係機関	その他	計
時間帯	06:00～07:59					
	08:00～17:59	158	64	133		355
	18:00～05:59					
	計	158	64	133		355
図4		本人	家族	関係機関	その他	計
相談内容	福祉利用	49	34	85		168
	障害理解					
	健康医療	15	2	6		23
	不安解消	84	28	34		146
	保育教育					
	家族人間	1		3		4
	家計経済	3		5		8
	生活技術	6				6
	就労支援					
	社会参加					
	権利擁護					
	その他					
	計	158	64	133		355

指定特定相談支援計画作成 障がい者… 6 6 件 障がい児… 2 件

指定特定相談支援モニタリング 障がい者… 6 3 件 障がい児… 0 件

指定一般相談支援事業地域相談支援 障がい者… 0 件

課題

相談支援事業では板野郡5町と委託契約を結び、地域の事情や状況に合わせて障がい者（児）またその家族と直接関わり、相談を重ねながら各関係機関と連携して各福祉サービス利用へと繋げている。

本人とその家族が安心して地域で生活を送ることができるよう福祉サービスの調整を図り、関係機関と生活状況の見守りを継続しながら課題発生時には解決に向けて働きかけていく。

職員研修は、マザーグースの家各種研修に参加。

令和6年度 指定放課後等デイサービス事業所マザーグース7 事業報告

1 定員、実利用者数(直近月:令和7年3月)

事業種別	定員	契約者数	実利用者数
放課後等デイサービス	10 人	12 人	12 人

2 延べ利用者数

	R6 4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7 1	2	3	合計 平均
延べ利用者数(人)	124	120	108	129	95	112	132	121	113	125	113	129	1,421
平均利用率	59%	57%	54%	59%	48%	59%	60%	60%	57%	66%	63%	65%	58.9%
前年度延べ利用者数(人)	137	138	166	136	109	132	130	108	120	111	70	122	1,479
前年度平均利用率	69%	69%	75%	68%	55%	66%	62%	60%	57%	58%	47%	61%	62.2%

3 職員の勤務年数

	2年未満	2～5年	5～7年	7～9年	9～14年	14年～20年
所長兼児童発達支援管理責任者					1	
児童指導員等	1	1				

4 事故報告

	けが	器物損壊
R6.4～R7.3	1	2

5 ヒヤリハット報告

	異食
R6.4～R7.3	1

6 各委員会

- 虐待防止のための対策検討委員会
5月、9月、2月に実施
- 身体拘束の適正化のための対策検討委員会
5月、9月、10月、2月に実施
- 感染症・食中毒の予防のための対策検討委員会
12月に実施

7 行事

長期学校休業日期间は、日替わりで行事を感染対策を行い実施している
お花見、恐竜展見学、工場見学、創作活動、おやつ作り、買い物など

8 防災

- 火災・水害を想定した避難訓練を2回実施した
5月、11月に実施
- 水害避難訓練結果報告書
11月に板野町に提出

9 研修

内部研修	メンタルヘルス研修	障害者虐待防止法研修
	安全運転研修	
外部研修	徳島県サービス管理責任者実践研修、徳島県障害者虐待防止	
	権利擁護研修、手をつなぐ育成会特別研修会、子ども支援ネット	
	ワーク会議、シニア人材活用セミナー、行動援護従事者研修	
	強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)(実践研修)	

10 まとめ

児童発達支援管理責任者の資格の期限切れがわかり、速やかに届け出た1年となった。令和6年度中に研修を受け、改めて児童発達支援管理責任者の責務を知り、令和7年度から仕切り直すこととなった。

この1年は、強度行動障害の児童への指導を模索した。不安定の要因を検討しながらドライブなども取り入れて気分転換も図ってきた。1日の生活リズムを整えるよう家庭とも連携してきた。すぐには成果があがらないが、学校を卒業して次の事業所へ繋げられるよう今後も指導・支援していく。

低学年の児童を積極的に受け入れ来年度以降の事業展開に繋げていきたい。

令和6年度
マザーグースの家 日中一時支援事業 事業報告

1 定員

事業種別	定員
日中一時支援事業	10 人

2 延べ利用者数

月	R6.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7.1	2	3	合計
延べ利用者数(人)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
昨年度比延べ利用者数(人)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

3 まとめ

他の事業所を利用しながらのお試しとしての利用であった。グループホームという選択肢が拡がり、他の施設の方が利用する機会も増えることも念頭に置いておく。

今後も地域の要望があれば受け入れていく。